地域社保協・加盟団体各位　お手数ですが、ご担当におわたしください。京都社保協事務局/　京都社保協ホームページパスワード：pass1

京都社保協事務局通信

４２期-第７号　2021.5.10
京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都６Ｆ　TEL 075-801-2526　Fax 811-6170
mail:shahokyo@labor.or.jp　http://kyotosyaho.web.fcc.com

７５歳医療費窓口負担２割化法案、病床削減法案を廃案に
緊急学習決起集会開催

４月２２日、年金者組合京都府本部・京都高齢期運動連絡会・京都社保協の共催で、「75 歳以上医療費窓口負担・2 倍化反対・緊急学習決起集会」を開催しました。オンライン含め４９人の参加で、７５歳医療費窓口負担 2 割化法案の問題点を学び、撤回に向けて取り組みを強める意思統一を行いました。

横山先生より、７５歳医療費窓口負担 2 割化法案の問題点を分かりやすくお話しいただきました。この法案は、①75 歳以上高齢者の 370 万人・30%（３人に１人）が影響を受ける、②外来も、入院も、薬局でも、負担は約 2 倍増になる。1 割から 2 割になると、年に 3.4 万円の負担増、③ただでさえ年金が下がっている 75～79 歳の平均的な夫婦では月 2.2 万円・年間 27 万円の赤字、④そのため貯蓄の取り崩しもできなくなり生活崩壊の危険も、⑤受診抑制で重症化のおそれがある、⑥親の介護を担う世代（267 万人）・ダブルケア世代（子育てと親の介護のダブル 25 万人）にも重い負担を負わせる最悪の法律だと解説しました。

また、現役世代の支援金７２０億円（年間たった 350 円）減少するが、一番減るのは公費（980 億円）でありことも指摘しました。

○集会での発言

・このコロナ禍になにしてくれんねん、という気持ち。年金は減る一方。2 割負担の対象が年収２００万円てなんでやねん。根拠もしめさんと。かつて老人医療費は無料やった。高齢者の生活はほんまに大変だ。青年の問題でもある。青年の要求は医者に行きたい、歯医者に行きたいというのがアンケートの結果。青年も高齢者も生活をよくする政治に変えていかないといけない。

・そもそも年金が低い。歯医者とかいったら赤字ですわ。２００万以上の人は 2 割とか言うてるけど、絶対に基準を引き下げてくる。私たちみんなの問題だ。

・高齢者の年金が低すぎる。年金は国民の権利だ。医療費は無料にという声をひろげていかないとあかんのではないか。

・75 歳以上医療費 2 割負担とあわせて、病床削減の法律も提案されている。いまコロナで病床が足りない。認知症や精神科の患者さんが入院できない状況もおきている。病床削減法なんてもってのほか。医師・看護師、そして減らされた感染病床を増やすことが必要だ。

・負担増で高齢者は受診できなくなる。受診抑制は、いのちに関わる問題。高齢者の命と健康をどのように守るのかが今問われている。コロナ禍の中で、窓口負担を引き上げるのは、おかしい。いのちを軽視する政治を変えよう。

・75 歳以上医療費 2 割負担問題は、高齢者だけの問題ではない現役労働者の問題でもある。親の介護で大変な現役労働者、親の年金に頼っている現役労働者もいる。自らの問題として取り組んでいきたい。

「コロナの中でやることか」が国民の声。自公与党は、今週にも強行採決を狙っています。７５歳以上

医療費窓口負担２割化撤回を求める請願署名、国会議員へのＦＡＸをもう一回り大きく広げましょう。

京都府に具体的な施策、切迫している医療･介護への対策、生活困窮者への対応を求める「第６次新型コロナに関わる要望書」を提出

「コロナ禍」からいのちと暮らし・生業を守る府市民総行動実行委員会と京都社保協推進協議会は、４月３０日に京都府に新型コロナウイルス感染症にかかわる第６次要請書を提出しました。

４月２３日に京都府にだされた緊急事態宣言にあたり、感染経路の遮断、ＰＣＲ検査の拡大、事業者･生活困窮者などへの補償･支援、医療提供体制の拡充、府民が安心して受けられるワクチン接種の体制、医療･介護施設の減収補填など２８項目について求めました。

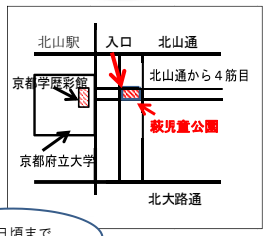
要請では、「府の具体的な目標をかけげ、施策を進め、到達を府民にしっかりと広報することが大事だ」「地域では、ワクチン接種をめぐる混乱への苦情や解決を求める声、これまでにない貧困やＤＶの相談が増えている」「病床の逼迫が深刻化している。医療機関の分担を進め、相談窓口を作ること」「地域医療構想調整会議で急性期の病床を減らす話が出ているが、構想の見直しを」「ワクチンは、ワクチンのロスを少なくするために集団接種を基本にすべき」「ゴールデンウィーク中の医療確保の広報があまりに遅い」「一人ひとりの府民に寄り添い、呼びかけを」など、感染防止対策などへの京都府のイニシアチブを強めるように求めました。

京都府は、「関係部局にもしっかり伝える。自宅待機の人は確かに多い。フォローアップセンターも活用し、すべての人の医療を確保するために努力する。在宅での問題などの指摘は理解した。病院の役割分担については、グループ化の方針も持っており、対応していきたい。地域医療構想については、慎重な検討がいると思う。ワクチンのことについては、無駄が出ないように、周知を府民にしていきたい。専門家会議は、非公開だが、感染症の専門家もいる」などの対応でした。

引き続き、府民一人ひとりのいのちと暮らし･雇用･営業を守るために、地域･職場の具体的な実態の改善を求めていくことにしています。

5/23（日）
左京連帯ひろば
in 下鴨・葵・松ヶ崎

午前 10 時～12 時
会場　萩児童公園
左京区下鴨萩ケ垣内町２０



食料品・日用品の提供にご協力下さい！

5 月 16 日頃までにご連絡ください

賞味期限にご注意ください

ご提供をお願いしたい食品 等

＊穀類(お米・麺類など)　＊乾物(のり、かつおぶし、昆布など)
＊保存食品(缶詰・瓶詰など)　＊インスタント食品、レトルト食品
＊飲料(ジュース・コーヒー・お茶など)　＊生理用品、紙おむつなど

連絡先 ご協力いただける方はご連絡ください。

【下鴨】
若狭 701-8470
静永 721-4465 電話/FAX
【葵】
梶山 711-7048 電話/FAX
鯵坂 203-6484 電話/FAX
辻村 781-2051 電話/FAX
【松ヶ崎】
中尾 724-4439 電話/FAX
本木 791-1460 電話/FAX

【団体連絡先】
左京健康友の会　712-9088
京建労左京支部　701-7558
左京民主商工会　722-3330
新婦人左京支部　721-0970
左京地区労働組合協議会　723-2351
民青京都府委員会　585−5451
年金者組合左京支部　711-5117（中山 電話/FAX）
日本共産党左京地区委員会　761-6341

ボランティア募集！
ポスター貼りだし・ビラ配布のご協力お願いします。

主催
左京連帯ひろば
in 下鴨・葵・松ヶ崎
実行委員
代表　梶山
☎ 090-3707-8316
左京連帯ひろば実行委員会
左京社会保障推進協議会
☎712−9088
（左京健康友の会内）

５月の各地の食プロ・連帯ひろばにご協力を

〇山科は、5 月 23 日(日)10 時から 14 時・円光寺

学生・若い世代のみなさんへ　無料です

食料品・日用品の提供と生活相談会

新型コロナウイルスの影響で、アルバイトや仕事が減ったり、なくなったりして、食費など生活を切り詰めている学生や若いみなさんをはじめ、コロナ禍で困っておられる方を応援する食料支援プロジェクトです。どうぞ、お気軽にお越しください。

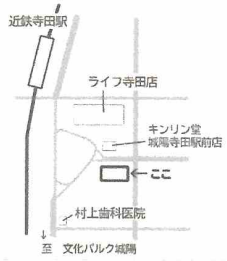
●マイバッグのご準備をお願いします。
●感染対策でマスクの着用をお願いします。
※当日は感染対策をしっかり行います。

5月16日(日)

午前11時 ～ 午後1時

寺田児童公園

近鉄寺田駅から徒歩5分



食材提供とボランティアスタッフも募集中です。

主催：城陽食料支援プロジェクト
共催：民青同盟洛南協議会

連絡先：滝澤歩　(090-8286-7569)　所美紀 (090-1222-9940)
藤原哲郎 (090-3976-4633)　西和代 (090-9110-6924)

主催：民主青年同盟　食材支援プロジェクト　ボランティア募集中!!

新型コロナウイルスの影響で、生活費や食費に困っているすべての青年・学生、地域の皆さんを応援するプロジェクトです。

青年・学生 & 地域

5/23(日) 13時30分～15時30分

場所：太子道診療所

中京区西ノ京小堀町18-1＜地図はおのQRコードで読み取ってください＞

○問い合わせは主催者までお願いします。
太子道診療所へのお問い合わせはご遠慮ください。

【主催】
中京区食材支援プロジェクト
【共催】
民青同盟中京地区委員会
京都中・右京健康友の会
太子道診療所
＜問い合わせ＞
Mail..nakagyo@violet.plala.or.jp
TEL.075-801-2591

学生・若い世代のみなさんへ　無料です

Twitterでも情報発信中！

食料品・日用品の提供と生活相談会

新型コロナウイルスの影響で、アルバイトや仕事が減ったり、なくなったりして、食費など生活を切り詰めている学生や若いみなさんをはじめ、コロナ禍で困っておられる方を応援する食料支援プロジェクトです。どうぞ、お気軽にお越しください。

●マイバッグのご準備をお願いします。
●感染対策でマスクの着用をお願いします。
※当日は感染対策をしっかり行います。

5月23日(日)

午前10時～午後1時

あさくら診療所駐車場

近鉄大久保駅から徒歩7分

食材提供とボランティアスタッフも募集中です。

主催：「宇治食料支援プロジェクト」実行委員会
共催：民青同盟洛南協議会

連絡先：堀林 康　【 080-6133-5182 】/ 水谷邦恵【 TEL・FAX：0774-22-5923 】
堀江ひさ代　【 080-5355-3096 / FAX 0774-43-7099 】
前窪 義由紀【 FAX:0774-22-6864 】

食料支援プロジェクト

3月7日に開催された食料支援の取り組みには、のべ75名が来場し食品や日用品を受け取りました。
この取り組みに対して、現金155,000円、お米750キロ、野菜、日用品など支援の物資が多くの皆様から届けられました。

会場では物品を渡すだけでなく、生活実態についてのアンケートや生活相談にも取り組みました。

来場者との対話の中で、ある学生さんから「制服代として天引きされたものが詐める時に返金されていない、給料の明細に不明な点がある」との相談を受けました。日を改めて面談し労働基準監督署に相談、返還と詳細明示を求めた書面を学生の方と作成してバイト先へ送付。後日、返金の通知が相手会社より寄せられました。

南丹市議会では3月議会において、多くの学生が生活に困窮を抱えていることが質問の中で取り上げられています。

各地で開催されている同様の取り組みでも、非正規労働によるワーキング・プアや仕事量の制限による収入減、生活苦などが明らかになっています。
今後、回を重ねるごとに多くの方々への様々な形の支援の必要性がひろがっていきそうです。
あらためて、困窮者への支援はもちろんのこと、能動的な活動が共感を生み、新たなつながりになることで社会を変える力を育む、そんな取り組みにしたいと思います。

今後とも皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いします

次回のおしらせ

5月30日　日曜日　　あさ10じから12じまで
栄町公民館　京都府南丹市 園部町栄町1号25-3

ただし緊急事態宣言のもと状況の変化によっては再度、日程の変更などありえます。
ツイッターにて随時、情報更新しております。ご確認を→　ツイッター　LINE

主催　日月宇食料支援プロジェクト実行委員会
共催　民青同盟南丹市委員会
連絡先　酒井啓介　090-5168-7193　森田理子 080-5308-4621　西浦純一 090-7109-2638
野村まゆみ 080-5434-3585　吉田洋子 090-3971-7176